

県立病院を良くする会 議事録

●日 時 令和7年3月12日（水）15:00～16:30

●会 場 WEB開催（徳島県庁10階 他）

●出席者

（委員）青 野 透 委員（徳島文理大学総合政策学部 教授）
石 本 知恵子 委員（地域医療を守る会 副会長）
後 藤 真 美 委員（（一社）キラニコ 代表理事）
姫 田 知 子 委員（四国大学短期大学部幼児教育保育科 准教授）
真 鍋 恵美子 委員（（税）すばる会計 公認会計士）
元 木 由 美 委員（（一社）徳島県医師会 常任理事）
八 木 秀 介 委員（徳島大学大学院医歯薬学研究部 特任教授）

（ 県 ） 病院事業管理者、病院局長、病院局副局長
中央病院（院長・看護局次長・事務局長）
三好病院（院長・看護局長・事務局長）
海部病院（院長・看護局長・事務局長）
本 局（総務課長・経営改革課長・政策調査幹）ほか

●会議の概要

開会	
司会 (経営改革課 副課長)	定刻となりましたので、ただ今から、「令和6年度県立病院を良くする会」を開会いたします。 本日の司会を務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。 開会にあたりまして、北畑 徳島県病院事業管理者から御挨拶申し上げます。
病院事業 管理者	（挨拶） 徳島県病院事業管理者の北畑でございます。 本日は大変お忙しい中、「県立病院を良くする会」に御出席を頂き、厚く御礼申し上げます。 さて、本県の医療を取り巻く環境につきましては、地域医療を支える担い手が減少する中、安全・安心で「持続可能な医療」を実現するため、県立3病院においては、「医療の質の向上」と患者の皆様の「利便性向上」、それから、業務の「最適化・効率化」を加速させる医療DXの推進に積極的に取り組んでいるところです。

	具体的には、中央病院では、三次救急の機能強化等を図る「本館棟の改修工事」の実施、そして、三好病院では、増加している手術需要に対応する「手術室の増設」や、新外来棟整備・基本計画の策定、そして、海部病院では、関係自治体と連携し、オンライン診療機能を備えた車輛により巡回・訪問診療を行う「医療M a a S」の実証など、地域の実情やニーズを踏まえた、持続可能な医療提供体制の構築に向けた取組を進めています。 県立病院が、基本理念に掲げる「県民に支えられた病院として県民医療の最後の砦」として、担うべき役割や機能をしっかりと果たし、更なる地域医療の充実を目指したいと考えております。 本日は、委員の皆様には、幅広い視点から忌憚のない御意見を頂きますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。
司会	議事に入ります前に、当会議の開催趣旨等について、御説明いたします。当会議におきましては、設置要綱第2条に規定されておりますとおり、「計画の達成状況の評価及び見直し」や「県立病院の基本理念の実現に必要な事項」について、委員の皆様から必要な御提言を頂くこととしております。本日は、「徳島県病院事業経営強化計画」の取組状況と、県立3病院の取組状況を御説明させていただきます。 委員の皆様方からは、より良い病院づくりのために、様々な御提言を頂きたいと存じますので、よろしくお願いいたします。 なお、議事内容につきましては、設置要綱第5条第3項により、発言された委員のお名前は記載せずに、病院局のホームページ上で公開させていただく予定ですので、よろしくお願いいたします。 それでは、議事に移ります。これからの進行につきましては、会長にお願いいたします。
議事	
(1) 「『徳島県病院事業経営強化計画（徳島県立病院経営強化プラン）』の令和5年度取組の評価等について」 (2) 「各県立病院の取組状況について」	
会長	それでは、議事(1)の「『徳島県病院事業経営強化計画』の令和5年度取組の評価等について」と、議事(2)の「各県立病院の取組状況について」、事務局から、まとめて御説明いただき、その後、委員の方々より、御提言等を頂きたいと考えております。 それでは、資料の説明をお願いします。
(病院局総務課 説明) ・ 資料2 徳島県病院事業経営強化計画の取組状況 ・ 資料3 徳島県病院事業経営強化計画K P I <令和6年度速報値> (各県立病院 説明) ・ 資料4 各県立病院の取組状況	

(3) 意見交換

会長	ありがとうございました。 それでは、委員の皆様におかれましては、只今の御説明に対しまして、是非とも有意義な御提言などをお願いしたいと思います。 どなたからでも結構ですので、いかがでしょうか。
委員	御説明ありがとうございました。 最初の方で、資料2の5ページのDMATについてですが、令和3年度が9（チーム）で令和5年度が8（チーム）だったんですけど、令和7年度が12（チーム）の目標になっているんですけども、やはり、県立病院は「最後の砦」という理念がありますし、私もやはり民間にはできないような、最後、災害が起きた時に3病院には、どうしても力を発揮していただきたいなというところがあつて。令和5年度に減っているんですけど、令和7年度に12（チーム）が達成できそうなのかなっていうのと、できたらいいなっていう思いと両方あつて、質問というか深く聞けたらなというのがあります。 あと、ちょっとドクターヘリの搬送件数が減って、ドクターカーの搬送件数が少し増えたっていうのがあったんですけども、あの救急搬送自体は増えているという認識でよかったでしょうか。最近、うちでは児童をお預かりしている事業所もしているんですけど、やっぱり＃7119とか＃8000のチラシとかが結構入るようになったので、今後も＃7119とか＃8000について、救急で本当に重症の方を優先できるように、そこも広報も続けてしていただきたいなと思ったのと、続けてなんですけど3つ目が、あの海部病院が結構DX化をどんどん進められているんですけども、三好病院の方も同じように西と南であの地域医療をされているんですけども、そこってこううまく連携して、海部でやっている取組を三好とうまく共有できたりとか、三好さんも既にされているのかもしれないですけど、こううまく連携できたらいいのかなっていうのはちょっと感じました。あと最後に、中央病院のInstagramは私、フォローしていたんですけど、海部病院はしていなかったの、最後インスタのQRコード出ていたので今フォローしました。楽しみに見させてもらいます。以上です。
会長	委員、ありがとうございました。 いかがでしょうか、DMATのこと、DX化のこと、それから、救急搬送のこととか。そういうところの関連する御質問でしたけれども。
中央病院	御意見ありがとうございます。DMATに関しましては、希望者をドクター、ナース、ロジといろいろ募って、希望者もおられるんですけども、DMATの講習を受ける順番とか抽選みたいなのがあつて、講習に当たらずに、希望者が待機するところなんかがございます。そういった方がまた講習を受けて、DMAT隊員となれることを想定して、令和7年度までにチームが増えるようにと想定しているところがあるかと思います。

	ローカルDMA Tといって、徳島県内で活動するチームというのはもっと参加しやすいんですけど、本格的な正式のDMA T隊員になるには、数日間の講習を受ける必要がございます、その順番待ちみたいなところもあって、また、ドクターの異動の関係もあって、チームの増減があったのかもしれない。また、チームを増やしていくように、支援していきたいと思いますのでよろしくお願いします。 あと、救急搬送に関しましては、御指摘のように、＃8000とか小児科の救急とか、その辺りのことは医師会の方もいろいろと介入していただいて、それで、軽症例は減ってきているんですけど、やっぱり重症例、重症度の割合が増えてきているという救急の現状でございます、高齢者が増えてくるとその分救急が増えていくっていうところもあります。 ドクターヘリはやはり天候の関係もあり、どうしても欠航が多いです、ドクターカーの方が動きやすいところがあります。もちろん、山の上までは行けないんですけども、そういったところでドクターカーの出動が増えて、ドクターヘリが減っているっていうふうなところが、令和5年度には影響したのかもしれない。また、令和6年度の集計に関しては、今年度ドクヘリの欠航が多かったのですが、こういったところの数値をまた御報告させていただきたいと思っております。
三好病院	三好病院です。まず、当院のDMA Tも医師はだいぶ育成できてきているんですけど、やっぱりロジというか、事務的なところで、薬剤師、放射線等の技師さん、それから、事務局といったところで、なかなか当院、先ほども言ったように、その部分は結構人が少なくて、なかなか取れるチャンスがないのですが、来年度取れば、もう1チームはまずできると思っております。 それから、医療DXに関しては、当院も以前から遠隔診療、特に手術支援ですね。当院の若手医師が手術している時に大学病院からアドバイスを受ける。それから、皮膚科、糖尿病等の診療においては、中央病院からも支援を受けてきたというところです。それから、先ほどの説明にもありましたとおり、当院も来年度「J o i n」（医療関係者間コミュニケーションアプリ）を導入して、当院も一部の職員は徳島市内から通っている人もいますから、その医師の負担を取り除く形で、心電図や画像等を共有して診断を仰ぐようにします。あと、やはり当院が一番しなければいけないのは、若手医師が西祖谷とか東祖谷の診療所へ応援に行っている、その辺りのDXというか、診療支援を遠隔で当院からできないかなというところで、今、（診療所の）カルテ等は、三好市立のため同じものではないので、当院からカルテを見たりとかそういう事はできないので、そういうのをJ o i nとか違う形で支援できないかと。ただ、J o i nは画像しか見られないので、やっぱり検査データとか、そういう診療内容も見られると、当院も支援しやすいので、そういうところも今、検討しているところです。

	あと、当院もインスタグラムをやっておりますので、今日はQRコードを載せていませんでしたが、フォローいただければ、いろいろな情報を出しております。よろしくお願いします。
会長	どうもありがとうございました。 委員、今のような回答でよろしかったでしょうか。
委員	はい、ありがとうございました。
会長	他に御質問ございますでしょうか。
委員	御説明ありがとうございました。1点ちょっと御質問なんですけれども、海部病院の説明の中でモビリティプロジェクト、医療Ma a Sの車輛を使った実証実験をされたということで、素晴らしい取組で、患者さんにしたら近くまで来ていただけるので、すごく好評だったと思いますが、これを横展開というか、西の方とか全県とか全国とかでやる上ですね、何か課題が見えたこともあったんじゃないかなと思います。これから、もっと良くなるというか、実装できるように、どういうふうに今動かれているのか教えていただけたらなと思います。
海部病院	医療Ma a Sの実証実験は、実は一週間だけでしたので、良いところしかまだ見えていないんですけれども、今は実装に向け、いろいろ準備しているところです。 ハードの整備は、機器などはある程度メーカーが協力していただいて、いろいろな遠隔装置がどんどん日進月歩で進化しますので、それはすぐに導入できると思っていますが、あとは人材の育成が一番大事かなと思っています。 やはり遠隔診療するに当たって、厚労省も言っていますが、看護師を、医師の診療レベルに近い看護師をいかに育成するかというところが大事なところですね。当院では、認定看護師が訪問診療を行ってしますので、かなりスキルの高い看護師がいますが、それが果たして全県的に充足しているかっていうと、まだ分からないところもございます。そういう遠隔診療を扱って医師と繋ぐ看護師さんの人材育成がこれから急務じゃないかなと思っています。ちょっと時間がかかるとは思いますが、やらないといけないことですので、全県挙げて、育成を図っていくべきかなと思います。
委員	ありがとうございました。
会長	他の方、いかがでしょうか、
委員	ありがとうございました。ちょっと気になった点で、資料3のところ速報値を出していただいています。令和7年度目標を既に超えているものがあるかと思っています。それについて、令和7年度の目標値は飛ばして、令和9年度の目標値に前倒しをするみたいな形になっていくのか、その辺りの目標の立て方をどういうふうに考えているのかな、というところをお伺いしたいと思います。

	三好病院が保健所と同じ施設に入っていくというところで、超高齢化社会というところはあるけれども、やっぱり若者もどんどん入れていくというか、正規に入ってきてほしいところがあると思うので、そういう部分で高齢者だけじゃなく、若い人たちも働きやすいし、それから子育てもしやすいという、海部病院のように動画なんかでも発信したりとかして、働きやすさと、子育てのしやすさみたいなものが繋がって、PRしていけたらいいのかな、なんてことを思いました。
会長	委員、ありがとうございました。 御回答いただけますでしょうか。
病院局 経営改革課	経営強化計画の目標につきまして、令和7年度の目標というのは、前の計画（徳島県病院事業経営計画（第2期））がありましたが、その計画を途中で、国がガイドラインを示した関係で、今の計画に、新たに策定し直したという経緯がございまして、中間目標として、前の計画の終期である令和7年度の目標を立てております。ということでございますので、もちろんこの令和7年度の目標を達成したからそれで終わりというわけではなく、先の令和9年度の目標に向けてさらに取組を進めて参ります。また、令和7年度の目標の達成状況を見ながら、必要であれば、見直しも図っていききたいとそのように考えております。
三好病院	三好病院からもよろしいでしょうか。御助言ありがとうございました。 まず、保健所と一緒にいろいろな効果というか、例えば、人材育成では、保健所と一緒に県民公開講座を開催したり、それから、オープンホスピタルを小学生を対象に開催したりして、やっぱり若い時から医療人を育成する。それから、保健所と一緒にやるとなれば、当院の産科で出産はできないですが、それまでの間のサポートを保健所の保健師さんと一緒に子供さんをしっかり育てて、その後の生まれた後のサポートというところは、今もやっていますが、それを強化していきたいと思います。 あとは、御助言いただいたとおり、インスタ等を活用して動画を掲載することで、働きやすさとか、今働いてる人の言葉も届けていければと思いますので、アドバイスいただきありがとうございました。さきほどの説明でも申しましたが、そういうふうに病院がしっかりすれば、また人が集まって来て、そこの地域はしっかりと担保できると思っていますので、いろいろところで取り組んで参りたいと思います。ありがとうございました。
三好病院	若干補足させていただきます。オープンホスピタルで小学生を対象に実施している点です。やっぱり幼い時からの意識付けというところで、中学、高校になってくると、いろいろ進路を決めたりというところがあるので、地域に残るというモチベーションや地域に貢献するということを早いうちから意識してもらった方がいいだろうということで、小学生を対象に行っているというところが一つの特色になっております。院長からそういった話があり、やっておりますので御理解よろしくをお願いします。

委員	2点ほどお願いします。（地域医療を守る会の活動は）16年になりますが、昨年の11月にも東京の地域医療を守る会の会合に行きまして、やはり、医師不足はなかなか医療従事者も看護師もそうなんですけど、なかなか収まらないように感じます。3病院とも一生懸命頑張っておられますが、前の時にも知らず知らずに医師がいなくなった。そういう危惧がありますので、そういうところを、やはり病院局も一生懸命なさせていただきます。 また、住民といたしまして、高規格道路を早く造ってください。命の道路を造ってくださいと国交省まで行って来ました。そのような活動はできますし、頑張らせていただきます。 もう1点は、資料3にもありますように、海部病院の職員公舎とか看護師さんの宿舎が、もう本当に南海トラフ地震を危惧してまして、浸かります。もう無理です。というところで、早く高台に上げないといけないと、ずっと危惧して町の方にも働きかけましたが、なかなかなんです。その点はやはり病院局も頭に置いていただいて、ほかの2病院とは違うところなんです。もう目の前に海がありますので、そういうところの対策をしないと、私たち住民も助けていただけないと、そういうことを危惧しておりますので、小さなことですけど、一番大切なことですので、どうぞよろしくお願いします。
会長	これは病院局から回答をお願いいたします。
病院局 総務課	御意見ありがとうございました。 医師の確保、医療従事者の確保のお話を頂きましたが、私どもは関係機関といろいろ連携しまして、若手医師の確保について、頑張ってきているところございまして、今後も引き続き各病院と一緒に、あの一生懸命確保していきたいと考えておりますので、また御協力いただけたらと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。
病院局 経営改革課	続きまして、海部病院の職員公舎の建て替えの件でございますが、この件につきましては、以前、令和4年の時に、建て替えをするべく検討チームも設置しまして、いろいろと検討を進めてきたところでございます。そういうところも踏まえまして、現在の経営強化計画の中にも、公舎の整備について記載しているところですが、その後、国において、南海トラフ巨大地震の浸水想定の見直しがされるということになりまして、今、この見直し作業が行われているところですが、その見直し結果によりましては、現在検討している移転候補地の辺りも浸水するのではないかというような恐れがありますことから、一旦検討を中断しているところでございます。 国の見直しにつきましては、公表が令和6年12月にされるのではないかと聞いておりましたが、最近、県の危機管理部にも確認しましたが、先般の能登半島の地震等もありまして、国のこの見直し作業が遅れているというふうに聞いております。

	私どもとしましては、そういった国の動向を注視しながら、公表されましたら、それに基づきまして、安全な場所に職員公舎を建て替えることについて、しっかり検討をしていきたいと考えておりますので、御理解いただけたらと思っております。よろしくお願いいたします。
会長	委員、いかがでしょうか。
委員	はい、頑張っしてほしいと思います。それで、土地のことはまた、いろいろなところを病院に近いところとか、そういうのは、また住民とか行政の方で頑張ってみると思いますので、よろしくお願いいたします。
会長	それでは、委員の皆様から御意見を頂きましたし、それぞれに対し御回答いただきました。 時間が参りましたので、この辺りで議事を終了させていただきます。委員の皆様方からは、貴重な御提言を頂き、ありがとうございました。 それでは、進行を事務局にお返しします。
閉会	
司会	会長ありがとうございました。 それでは、閉会にあたりまして、北畑病院事業管理者より御挨拶申し上げます。
病院事業 管理者	(挨拶) 本日は、委員の皆様方におかれましては、貴重な御意見・御提言を頂きまして心より感謝申し上げます。 本日、皆様から頂きました貴重な御意見等につきましては、今後の病院経営にしっかりと活かして参りたいと思いますので、今後とも県立病院への御支援を賜りますようお願い申し上げます。簡単ではございますが、御礼の言葉とさせていただきます。 本日は、誠にありがとうございました。
司会	それでは、これをもちまして、「令和6年度県立病院を良くする会」を終了いたします。 本日はどうもありがとうございました。